

## まずは被災状況を確認しましょう

### 1 水路、畦畔の確認

- ・用水路は草刈り、清掃を行い、用水の流れをよくしましょう。
- ・畔の崩れや変形、動物による穴等を確認し、漏水防止対策を施しましょう。
- ・目視で確認できない亀裂等の発生も懸念されるので、すべてのほ場で畔塗を行いましょ。
- ・コンクリート畦畔では、漏水防止対策もしくは土畔の設置も検討しましょう。

### 2 ほ場の確認（液状化、土壌の隆起、地割れ等）

- ・液状化による噴砂した砂は養分を含まないので、土壌養分ムラが懸念されます。スコップ等で拡散した後に、トラクターで噴砂と作土をよく混合しましょう。
- ・土壌の隆起や噴砂により水たまりができ水が抜けない場合は、排水溝を設置し排水に努め、耕起作業等が行いやすいよう準備しましょう。
- ・土壌の隆起等によりほ場内に高低差ができている場合は、土が乾いた状態で均平作業を行いましょ。

※噴砂は耕盤層を破壊して下層から砂が吹き上がるため、噴砂した箇所では機械がはまったり、漏水が発生しやすくなる可能性があるため、十分注意してください。



写真1 噴砂



写真2 噴砂により発生した水たまり

### 4 機械、育苗施設等の確認

- ・機械や施設について問題なく稼働するか確認しましょう。
- ・育苗ハウスの床土が均平であることを確認し、床土が乾きにくい場合は、ハウスのまわりに排水溝を掘りましょ。
- ・育苗ハウスのかん水装置の通水テストを行い、散水ムラがないことを確認しましょ。
- ・流し初めは濁り水となる場合があるため、散水部が詰らないよう透明な水となってから通しましょ。
- ・用水が確保でき、田植ができる時期を確認したうえで播種計画を見直し、浸種を開始しましょ。
- ・農道や搬入路の被災状況を確認し、トラクター等での転倒、転落事故を防ぎましょ。

### ☆ 異常があった場合には…

- ・状況がわかるメモや写真等を準備し、下記までご連絡ください。  
農地・水路など・・・氷見市ふるさと整備課 0766-74-8091  
農業機械、施設など・・・氷見市農林畜産課 0766-74-8086

